（様式第 10）

2 岐大病総第 64 号
令和 2 年 10 月 2 日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　国立大学法人東海国立大学機構
機構長　松尾　清一　（印）

岐阜大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒464-8601　愛知県名古屋市千種区不老町
氏　　名	国立大学法人東海国立大学機構

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

岐阜大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸１番１　　電話（０５８）２３０－６０００

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に〇印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有　・　無
内科と組み合わせた診療科名等 ①呼吸器内科　②消化器内科　③循環器内科　④腎臓内科 5神経内科　6血液内科　7内分泌内科　8代謝内科 9感染症内科　10アレルギー疾患内科またはアレルギー科　11リウマチ科	
診療実績	

（注）1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。
2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	㊒ ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科　②消化器外科　③乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　⑥心臓血管外科　7内分泌外科　8小児外科	
診療実績	

(注) 1　「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科　②小児科　③整形外科　④脳神経外科　⑤皮膚科　⑥泌尿器科　⑦産婦人科 8産科　9婦人科　⑩眼科　⑪耳鼻咽喉科　⑫放射線科　⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科　⑮麻酔科　⑯救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	㊒ ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科　②矯正歯科　③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1血液・感染症内科　2脳神経内科　3形成外科　4病理診断科　5リハビリテーション科 6　7　8　9　10　11　12　1 3　14　15　16　17　18　19 20　21

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
３７床	床	床	床	５７７床	６１４床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　　種	常　勤	非常勤	合　計	職　　種	員　数	職　　種		員　数
医　　師	376 人	22.4 人	398.4 人	看護補助者	41 人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	8 人	0.6 人	8.6 人	理学療法士	20 人	臨床検査	臨床検査技師	56人
薬　剤　師	46 人	0 人	46.0 人	作業療法士	4 人		衛生検査技師	0人
保　健　師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	6 人		そ　の　他	0人
助　産　師	22 人	2.2 人	24.2 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看　護　師	612 人	26.3 人	638.3 人	臨床工学士	13 人	医療社会事業従事者		7人
准看護師	0 人	0 人	0 人	栄　養　士	0 人	その他の技術員		19人
歯科衛生士	3 人	0 人	3.0 人	歯科技工士	2 人	事　務　職　員		186人
管理栄養士	12 人	1.6 人	13.6 人	診療放射線技師	46 人	その他の職員		46人

（注）1　報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	26 人	眼科専門医	10 人
外科専門医	29 人	耳鼻咽喉科専門医	7 人
精神科専門医	4 人	放射線科専門医	15 人
小児科専門医	16 人	脳神経外科専門医	6 人
皮膚科専門医	7 人	整形外科専門医	14 人
泌尿器科専門医	10 人	麻酔科専門医	20 人
産婦人科専門医	15 人	救急科専門医	17 人
		合　計	196 人

（注）1　報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　　吉　田　和　弘　　）　任命年月日　平成 30　年 4　月 1　日

平成 29 年 2 月に「医療安全管理規定」を改正し、病院長候補者として医療安全管理委員会委員として任命され、平成 30 年 4 月に病院長としても医療安全管理業務に携わっている。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	503.2人	9.1人	512.3 人
1日当たり平均外来患者数	1410.35人	52.09人	1462.44 人
1日当たり平均調剤数	988剤		
必要医師数	133.4人		
必要歯科医師数	5.0人		
必要薬剤師数	18人		
必要（准）看護師数	306人		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	137.23m^2	鉄筋コンクリート	病床数	6床	心電計	㊒・無
			人工呼吸装置	㊒・無	心細動除去装置	㊒・無
			その他の救急蘇生装置	㊒・無	ペースメーカー	㊒・無
無菌病室等	［固定式の場合］　床面積　144.21　m^2 ［移動式の場合］　台数　7　台				病床数　14　床	
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　床積　54.63 m^2 ［共用室の場合］　共用する室名					
化学検査室	368m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）生化学自動分析装置			
細菌検査室	106m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）全自動細菌検査装置			
病理検査室	352m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）生物顕微鏡、病理診断システム			
病理解剖室	252m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）ルーム型遺体保冷庫			
研究室	711m^2	鉄筋コンクリート	（主な設備）超低温フリーザ、分析装置、滅菌装置など			
講義室	656m^2	鉄筋コンクリート	室数　11室		収容定員　427人	
図書室	42m^2	鉄筋コンクリート	室数　1室		蔵書数　168,500冊程度	

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹　介　率	82.0%	逆　紹　介　率	71.0　%
算出根拠	Ａ：紹　介　患　者　の　数	.	11,427人
	Ｂ：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,690人
	Ｃ：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,069人
	Ｄ：初　診　の　患　者　の　数		16,451人

（注）1　「紹介率」欄は、Ａ、Ｃの和をＤで除した数に 100 を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、ＢをＤで除した数に 100 を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
3　Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
冨田　栄一	岐阜市民病院	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有・(無)	1
中西　敏夫	弁護士法人森川・鈴木法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・(無)	1
松野　正仁	（一社）岐阜市医師会		医療を受ける者	有・(無)	2
王　志剛	岐阜大学		学長が必要と認める者	(有)・無	3
有賀 紀美子	あけぼの岐阜		医療を受ける者	(有)・無	2

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 岐阜大学ホームページ （https://www.gifu-u.ac.jp/about/objectives/audit/hospital.html） 岐阜大学医学部附属病院ホームページ （https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/guide/gaibu_kansa.html）	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

実績なし

（注）1　「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2　「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
経皮的乳がんラジオ波焼灼療法	0人
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法　切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん（ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

実績なし

（注）1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　　患　　名	患者数		疾　　患　　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	45
2	筋萎縮性側索硬化症	38	57	特発性拡張型心筋症	10
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	1
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	21	60	再生不良性貧血	16
6	パーキンソン病	82	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	31
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	11
11	重症筋無力症	51	66	IgA 腎症	4
12	先天性筋無力症候群	1	67	多発性嚢胞腎	22
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	49	68	黄色靭帯骨化症	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	14	69	後縦靭帯骨化症	32
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	46
17	多系統萎縮症	24	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	40	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	28	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	16
23	プリオン病	4	78	下垂体前葉機能低下症	44
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	11	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	58
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	21
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	4
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3
34	神経線維腫症	16	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	15	90	網膜色素変性症	6
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	16	92	特発性門脈圧亢進症	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	8
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安動脈炎	14	95	自己免疫性肝炎	8
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	111
42	結節性多発動脈炎	5	97	潰瘍性大腸炎	178
43	顕微鏡的多発血管炎	23	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	9	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	4	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	167	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	84	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	135	106	クリオピリン関連周期熱症候群	2
52	混合性結合組織病	21	107	全身型若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	25	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	9
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	1	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	5
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	14	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	12
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	8
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	0
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	1	300	IgG4関連疾患	10
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	18

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	2
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0			

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
オンライン診療料	がん拠点病院加算の1のイ（がん診療連携拠点病院加算）
地域歯科診療支援病院歯科初診料	栄養サポートチーム加算
歯科外来診療環境体制加算	医療安全対策加算1
特定機能病院入院基本料　一般（7:1）	感染防止対策加算1
特定機能病院入院基本料　精神（13:1）	感染防止対策地域連携加算
臨床研修病院入院診療加算　医科（基幹型）	抗菌薬適正使用支援加算
臨床研修病院入院診療加算　歯科（単独型又は管理型）	患者サポート体制充実加算
救急医療管理加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
超急性期脳卒中加算	ハイリスク妊娠管理加算
妊産婦緊急搬送入院加算	ハイリスク分娩管理加算
診療録管理体制加算1	呼吸ケアチーム加算
医師事務作業補助体制加算1　20対1	後発医薬品使用体制加算1
急性期看護補助体制加算（25:1）　看護補助者5割以上	病棟薬剤業務実施加算1
夜間100対1急性期看護補助体制加算	データ提出加算2
夜間看護体制加算	入退院支援加算1
看護職員夜間12対1配置加算1	地域連携診療計画加算　入退院支援加算注4
看護補助加算2（50対1）　精神病棟	認知症ケア加算2
療養環境加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
重症者等療養環境特別加算1	入院時支援加算
無菌治療室管理加算1	精神疾患診療体制加算1　2
無菌治療室管理加算2	精神科急性期医師配置加算2
緩和ケア診療加算	地域歯科診療支援病院入院加算
精神科応急入院施設管理加算	地域医療体制確保加算
精神科身体合併症管理加算	救命救急入院料3（注3、注5、注7の加算）
精神科リエゾンチーム加算	特定集中治療室管理料1（注5早期栄養介入管理加算）
摂食障害入院医療管理加算	新生児特定集中治療室管理料2

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
新生児治療回復室入院医療管理料	
小児入院医療管理料2（注2の加算）	
入院時食事療養（Ⅰ）	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
外来栄養食事指導料1 イ	医療機器安全管理料2
心臓ペースメーカー指導管理料 植込型除細動器移行加算	医療機器安全管理料（歯科）
心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔モニタリング加算	精神科退院時共同指導料
高度難聴指導管理料	歯科治療総合医療管理料（Ⅰ）及び（Ⅱ）
糖尿病合併症管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合
がん患者指導管理料 イ	造血器腫瘍遺伝子検査
がん患者指導管理料 ロ	遺伝学的検査
がん患者指導管理料 ハ	骨髄微小残存病変量測定
がん患者指導管理料 ニ	BRCA1/2遺伝子検査2 血液検体
外来緩和ケア管理料	がんゲノムプロファイリング検査
移植後患者指導管理料 臓器移植後	特殊分析 先天性代謝異常症検査 イロハ
移植後患者指導管理料 造血幹細胞移植後	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
糖尿病透析予防指導管理料	抗HLA抗体（スクリーニング検査）（抗体特異性同定検査）
小児運動器疾患指導管理料	HPV核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	検体検査管理加算（Ⅰ）
婦人科特定疾患治療管理料	検体検査管理加算（Ⅳ）
外来リハビリテーション診療料	国際標準検査管理加算
外来放射線照射診療料	遺伝カウンセリング加算
ニコチン依存症管理料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
がん治療連携計画策定料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん治療連携管理料の1	植込型心電図検査
外来がん患者在宅連携指導料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
肝炎インターフェロン治療計画料	ヘッドアップティルト試験
薬剤管理指導料	皮下連続式グルコース測定（一連につき）
医療機器安全管理料1	長期継続頭蓋内脳波検査

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
筋電図検査　単線維筋電図	CT撮影及びMRI撮影（64以上マルチスライスCT）4台目（第2CT室）
神経学的検査	CT撮影及びMRI撮影（64列以上のマルチスライスCT）5台目（第1CT室）
補聴器適合検査	冠動脈CT撮影加算（第1CT室（64列）・第3CT室（64列））
全視野精密網膜電図	外傷全身CT加算（第1CT室（64列）・第3CT室（64列））
黄斑局所網膜電図	大腸CT撮影加算（第1CT室）
ロービジョン検査判断料	大腸CT撮影加算（第2CT室）
コンタクトレンズ検査料1	大腸CT撮影加算（第3CT室）
小児食物アレルギー負荷検査	心臓MRI撮影加算
センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る）併用法	乳房MRI撮影加算
センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る）単独法	小児鎮静下MRI撮影加算
CT透視下気管支鏡検査加算	頭部MRI撮影加算
有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	全身MRI撮影加算
精密触覚機能検査	外来化学療法加算1
画像診断管理加算3	連携充実加算
ポジトロン断層撮影	無菌製剤処理料
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
血流予備量比コンピューター断層撮影　第1CT	心大血管疾患リハビリテーション料　初期加算
血流予備量比コンピューター断層撮影　第2CT	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
血流予備量比コンピューター断層撮影　第3CT	脳血管疾患等リハビリテーション料　初期加算
CT撮影及びMRI撮影　3テスラ　（第1MRI）	廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）
CT撮影及びMRI撮影　3テスラ　（第2MRI）	廃用症候群リハビリテーション料　初期加算
CT撮影及びMRI撮影　1.5テスラ　（第3MRI）	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
CT撮影及びMRI撮影　1.5テスラ　（第4MRI）	運動器リハビリテーション料　初期加算
CT撮影及びMRI撮影（64列以上のマルチスライスCT）1台目（第3CT室）	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
CT撮影及びMRI撮影（16以上64列未満のマルチスライスCT）2台目（CTシミュレータ室）	呼吸器リハビリテーション料　初期加算
CT撮影及びMRI撮影（16以上64列未満のマルチスライスCT）3台目（血管造影室）	摂食嚥下支援加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
がん患者リハビリテーション料	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
集団コミュニケーション療法料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）
歯科口腔リハビリテーション料2	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調治療指導管理料に限る。)	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
医療保護入院等診療料	上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
硬膜外自家血注入	下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
導入期加算2及び腎代替療法加算	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
一酸化窒素吸入療法	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
手術用顕微鏡加算	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） 一次二期的再建及び二次再建
口腔粘膜処置	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CAD／CAM冠	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科技工加算1及び2（床義歯修理（1床につき））	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算（皮膚悪性腫瘍切除術）	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
皮膚移植術（死体）	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
組織拡張器による再建手術 （乳房（再建手術）の場合に限る。）一次再建及び二次再建	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	経皮的冠動脈形成術
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル
椎間板内酵素注入療法	経皮的冠動脈ステント留置術
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	胸腔鏡下弁置換術
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算（頭蓋内腫瘍摘出術）	胸腔鏡下弁形成術
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術（植込型心電図記録計移植術）
緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術（植込型心電図記録計摘出術）
人工中耳植込術	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 （子宮頚がんに限る）
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 （子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
補助人工心臓	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6 （歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術
経皮的大動脈遮断術	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
ダメージコントロール手術	輸血管理料Ｉ
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術支援機器を用いる場合）	輸血適正使用加算
腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）	貯血式自己血輸血管理体制加算
腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡支援機器を用いる場合）	自己生体組織接着剤作成術
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	自己クリオプレシピテート作製術（用手法）
体外衝撃波胆石破砕術	同種クリオプレシピテート作成術
腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、1区域切除（外側区域切除を除く。）、2区域切除及び3区域切除以上のもの）	歯周組織再生誘導手術
体外衝撃波膵石破砕術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	歯根端切除手術の注3
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	口腔粘膜血管腫凝固術
腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	レーザー機器加算
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	麻酔管理料（Ｉ）
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	麻酔管理料（Ⅱ）
同種死体腎移植術	放射線治療専任加算（第1リニアック室・第2リニアック室）
生体腎移植術	外来放射線治療加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	高エネルギー放射線治療
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いる場合）	1回線量増加加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	強度変調放射線治療（IMRT）（第1リニアック室・第2リニアック室）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 （子宮体がんに限る）	画像誘導放射線治療（IGRT）（第1リニアック室）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
体外照射呼吸性移動対策加算	
直線加速器による放射線治療（定位放射線治療）（第2リニアック室）	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算（第1リニアック室）	
保険医療機関間の連携による病理診断	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作成	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	
デジタル病理画像による病理診断	
病理診断管理加算2	
口腔病理診断料　病理診断管理加算2	
悪性腫瘍病理組織標本加算	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
歯科矯正診断料	
顎口腔機能診断料〔顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの〕	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	
・	
・	
・	
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

実績なし

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22
剖 検 の 状 況	剖検症例数 19例 ／ 剖検率 6.23 %

（注） 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Precision medicineに向けたゲノム解析に基づく胃がん新分類の試み	吉田　和弘	消化器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代画像診断に基づく放射線治療技術の開発	松尾　政之	放射線科	4,550,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
集学的な機能ゲノミクスによる希少MODYの成因探索	堀川　幸男	医療連携センター	5,330,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨格発生及び骨軟骨疾患における好気性・嫌気性ATP生合成の関与に関する解析	秋山　治彦	整形外科	4,420,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア代謝をイメージングバイオマーカーとする早期画像診断法の開発	兵藤　文紀	放射線科	4,680,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
2つのミトコンドリアチオラーゼ欠損症のモデルマウス作成による病態解明	深尾　敏幸	小児科	4,420,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質液排泄機構にかかわる血管内皮グリコカリックスの機能解析	岡田　英志	高次救命治療センター	7,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老人性難聴に関連する認知機能と脳の構造変化とストレス関連ホルモン動態の解明	青木　光広	耳鼻咽喉科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グルコース感受性転写因子ChREBPを介したケトン体代謝調節機構の解明	飯塚　勝美	生体支援センター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん治療における口内炎に対する新規開発ポラプレジンク含有トローチ製剤の予防効果	鈴木　昭夫	薬剤部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オランザピンの抗がん剤誘発性悪心・嘔吐に対する臨床的有効性とその作用機序の解明	小林　亮	薬剤部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インセンティブ付与制度が多剤内服高齢者に与える影響の解明と制度設計に関する研究	林　祐一	脳神経内科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵臓癌の癌微小環境構成細胞の解明: 転移制圧を目指して	末次　淳	第1内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IB-IVUSによる肺腫瘍診断	大野　康	第2内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

インクレチンによる膵β細胞増殖制御機構の解明	矢部　大介	第3内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性リンパ腫における慢性炎症からの発がんの検討	鶴見　寿	第1内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アトピー性皮膚炎の皮膚サイトカイン環境の網羅的解析	加納　宏行	皮膚科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
上腹部領域のMRI撮像における超時短プロトコルの標準化	河合　信行	光学医療診療部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
不良ミトコンドリア由来の活性酸素種を標的にした新規癌治療法の開発	二村　学	乳腺外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺気腫症に対する肺切除後の肺再生と右心不全の予防に関する実験的検討	岩田　尚	呼吸器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
麻酔薬が脳代謝に与える影響からみた脳保護作用の分子基盤	田辺　久美子	麻酔科疼痛治療科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
筋層浸潤膀胱癌予後予測因子としてのブチリルコリンエステラーゼとグレリンの有用性	古家　琢也	泌尿器科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症における血管内皮グリコカリックスの超微形態的考察	小倉　真治	高次救命治療センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HLAハプロタイプホモ歯髄細胞およびiPS細胞由来エクソソームの解析	川口（武田）　知子	歯科口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳出血に対する新規治療としての低酸素・低糖刺激ミクログリア療法の検討	下畑　享良	脳神経内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インターロイキン36関連分子の構造解析による臨床応用への展開	大西　秀典	新生児集中治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪肝が肝内胆管発癌に及ぼす影響：新規マウスモデル樹立と発癌機序解明	白上　洋平	第1内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心腸連関に着目した心不全治療戦略―心筋オートファジーにおけるGLP-1の重要性―	金森　寛充	第2内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
開心術前後の心拍応答に及ぼす交感神経活性の影響：運動耐用能の改善を目指して	土井　潔	心臓血管外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性高血糖における脳血管内皮機能と麻酔薬の関係の検討	福岡　尚和	麻酔科疼痛治療科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

周術期ビッグデータを活用した手術患者アウトカムに及ぼす臨床指標の探索	長瀬　清	手術部	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経腸栄養が腸管環境に与える影響の基礎医学的検討	吉田　隆浩	高次救命治療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リコンビナントトロンボモジュリンの血管内皮グリコカリックス増生効果の検討	鈴木　浩大	高次救命治療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低分子ヘパリンを用いた骨DDSの開発と骨再生研究	野澤　聡	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸の変形性関節症に関する分子生物学的解析	松本　和	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞誘導未分化Schwann細胞による新規末梢神経再生医療に関する研究	平川　明弘	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
淋菌薬剤感受性サーベイランスによる薬剤耐性淋菌検出および耐性機序、分子型別の検討	安田　満	泌尿器科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿エクソソームを利用した尿路感染症診断法の開発と感染メカニズムの解明	水谷　晃輔	泌尿器科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規細胞死フェロトーシスをターゲットとした卵巣がん治療戦略	森重　健一郎	産婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リコンビナント・インブレッド系マウスを用いた膠原病治療モデルのゲノム病理学的解析	宮崎　龍彦	病理部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸動脈エコー動画解析による動脈硬化度の定量－生活習慣病・膠原病での検討－	森田　浩之	総合内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌の酸化還元代謝に基づく早期診断法の開発	野澤　麻枝	放射線科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-18ペプチド阻害分子の薬効増強・安定化へむけた立体構造・機能解析	加藤　善一郎	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アレルギーワクチン開発を目的とした食物アレルゲンエピトープの網羅的解析手法の確立	川本　典生	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝筋相関制御による新規肝不全および肝発癌予防法の開発	白木　亮	第1内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規HBV感染症モデルを用いた治療的ワクチン療法の開発	伊藤　弘康	検査部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

体組成解析を基盤とする慢性肝疾患患者の包括的治療戦略	清水　雅仁	第1内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性皮膚疾患の病態におけるプログラニュリンの役割	清島　眞理子	皮膚科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌における5FU作用機序の違いによる耐性機序の違いとその克服	森　龍太郎	第2外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メイズ手術前後の左房形態及び左房機能とその経時的推移：MRIを用いた評価法の確立	石田　成吏洋	第1外科	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨粗鬆症性疼痛に対する鎮痛薬の骨リモデリングへの影響とその分子メカニズムの解明	飯田　宏樹	麻酔科疼痛治療科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症におけるエンドトキシン吸着療法の機序解明	土井　智章	高次救命治療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞分泌因子を用いた新たな神経保護療法の研究と開発	江頭　裕介	脳神経外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト歯髄細胞および歯髄由来多能性幹細胞に由来するエクソソームの性質と機能の検索	畠山　大二郎	歯科口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔がん細胞株におけるPD-L1制御因子の検索	加藤　恵三	歯科口腔外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高大接続に基づくベストミックス評価選抜法の開発：来るべき大学入試改革を見据えて	中島　美千世	精神神経科	4,550,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症の治療標的を目指した軟骨細胞メカノトランスダクション機構の解明	小川　寛恭	整形外科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボリック症候群を基盤病態とする大腸発癌の特性：分子異常とmiRNAの解析	久保田　全哉	第1内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機能イメージングを用いたがん微小環境、特に抗がん免疫環境の評価法の検討	大橋　敏充	耳鼻咽喉科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アンチトロンビン製剤による血管内皮保護効果の検討	岡本（池庄司）遥	高次救命治療センター	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トリプトファン代謝に着目した癌免疫療法抵抗性の病態解明	二宮　空暢	輸血部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超高感度化MRIによる5mm径膵癌検出プロトコルの構築	野田　佳史	放射線科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

経皮的汗中乳酸センサーによる非侵襲的かつ持続血中乳酸濃度モニタリング法の新規開発	渡邉　崇量	検査部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗IgLON5抗体関連疾患の臨床スペクトラムの解明と治療法の確立	木村　暁夫	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
臨床応用を目的としたダイナミックリンパ流イメージング法の開発	棚橋　裕吉	放射線部	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脈管異常に合併する凝固異常の病態解明と治療薬開発	遠渡　沙緒理	小児科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性Muse細胞誘導因子S1PR2 agonistによる梗塞後心筋組織修復再生	湊口　信吾	第2内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乾癬におけるPrograulinの作用機序の解明	水谷　陽子	皮膚科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体液量増加と血管内皮グリコカリックス障害の関連についての考察	吉田　省造	高次救命治療センター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
出血性ショックによる多臓器不全に対する新規薬物治療介入の開発	山田　法顕	高次救命治療センター	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高気圧酸素療法は薬物濃度に影響する	神田　倫秀	高次救命治療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腱再生を制御する分子制御機構の解明による腱再生能力賦活化治療の開発	河村　真吾	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トリプトファンによる造血器腫瘍制御と新規治療法の開発	松本　拓郎	第1内科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
集中治療患者の上腸間膜動脈の血流に対する鍼灸治療の効果の検討	松本　淳	第2内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体液貯留による血管内皮障害を介した浮腫形成を予防する新規治療戦略の開発	内藤　順子	第2内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性小脳失調症の臨床像と病態の解明に向けた抗神経抗体の検索と対応抗原の同定	吉倉　延亮	脳神経内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
βカテニン局在によるWntシグナル活性と癌幹細胞および放射線治療抵抗性の関係	江崎　可絵	放射線科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵線維化および膵発癌過程における膵貯蔵レチノイドの役割	小澤　範高	第1内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

HSD10病における分子生物学的機能解析法の確立	笹井　英雄	小児科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心筋炎における微小炎症環境での動的ガレクチン3の役割の解明	館　正仁	高次救命治療センター	2,470,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心不全における血管内皮グリコカリックスの超微形態学的検討	福田　哲也	高次救命治療センター	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
長管骨／骨盤骨折に合併する脳脂肪塞栓症の発生頻度の解明と治療法の開発	三宅　喬人	高次救命治療センター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
びまん性神経周囲浸潤をきたす新規マウスグリオーマモデルを用いた新規治療法の開発	宮居　雅文	脳神経外科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
組織学的解析に基づいたドップラ超音波血流速による肩腱板断裂の疼痛指標の開発	寺林　伸夫	整形外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器科癌における抗体医薬品を用いた血中タンパク・エクソソーム解析法に関する研究	堀江　憲吾	泌尿器科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
甲状腺未分化がん発生機構の解明と新たな治療選択の開拓	柴田　博史	耳鼻咽喉科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌におけるクロマチン再構成因子複合体の機能解析	武内　勝章	歯科口腔外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
特発性大腿骨頭壊死症におけるbFGF含有ゼラチンハイドロゲルによる壊死骨再生治療の開発	秋山　治彦	整形外科	19,346,340	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新生児マススクリーニング対象疾患等の診療に直結するエビデンス創出研究	深尾　敏幸	小児科	7,930,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
がん酸化還元代謝をバイオマーカーとする治療効果の早期画像診断法の開発	松尾　政之	放射線科	15,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治性リンパ管異常に対するシロリムス療法確立のための研究	小関　道夫	小児科	75,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ネガティブ試験等の結果を用いた効率的な試験デザイン等の検討に関する研究	浅田　隆太	先端医療・臨床研究推進センター	1,460,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬剤耐性淋菌感染症の対策に資する研究	安田　満	生体支援センター	1,950,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治性脈管異常の皮膚病変に対するシロリムスゲルの臨床応用を目指したプロトコール作成	小関　道夫	小児科	3,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

計94件

（注）

1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Iizuka K, Mizuno M, Nonomura K, et al.	第3内科	A rare case of autoimmune polyglandular syndrome with Sjögren's syndrome and primary hypoparathyroidism.	BMJ Case Reports , 2019, 12(5), e228634	Case report
2	Yabe D, Kuwata H, Fujiwara Y, et al.	第3内科	Dietary instructions focusing on meal-sequence and nutritional balance for prediabetes subjects: An exploratory, cluster-randomized, prospective, open-label, clinical trial.	J Diabetes Complications., 2019, 33(12), 107450	Original Article
3	Horikawa Y, Enya M.	第3内科	Genetic Dissection and Clinical Features of MODY6 (NEUROD1-MODY).	Curr Diab Rep. , 2019, 19(3), 12	Review
4	Mizuno M, Iizuka K, Ishihara T, et al.	第3内科	High Dose Prednisolone Lowers Plasma Glycated Albumin Levels Compared to Actual Glycemic Control: A Retrospective Observational Study.	Diabetes Ther. , 2019, 10(1), 269-276	Original Article
5	Horikawa Y, Suzuki A, Enya M, et al.	第3内科	Periodontal disease may be associated with the occurrence of diabetic retinopathy: A subgroup analysis of the survey of the Diabetes Coordination Notebook in Gifu.	Exp Clin Endocrinol DiabetesExp Clin Endocrinol Diabetes, 2019, ,	Original Article
6	Yabe D, Kuwata H, Seino Y.	第3内科	The journey to understanding incretin systems: Theory, practice and more theory.	J Diabetes Investig. , 2019, 10(5), 1171-1173	Review
7	Sakurai T, Iizuka K, Kato T, et al.	第3内科	Type 1 Diabetes Mellitus and Klinefelter Syndrome.	Intern Med. , 2019, 58(2), 259-262	Original Article
8	Ago Y., Sugie H., Fukuda T., et al.	小児科	A rare PHKA2 variant (p.G991A) identified in a patient with ketotic hypoglycemia	JIMD Rep, 2019, 48(1), 15-18	Case report
9	Fukao T., Nakamura K.	小児科	Advances in inborn errors of metabolism	J Hum Genet, 2019, 64(2), 65	Review
10	Hori T., Ohnishi H., Kadowaki T., et al.	小児科	Autosomal dominant Hashimoto's thyroiditis with a mutation in TNFAIP3	Clin Pediatr Endocrinol, 2019, 28(3), 91-96	Case report

11	Ozeki M., Aoki Y., Nozawa A., et al.	小児科	Detection of NRAS mutation in cell-free DNA biological fluids from patients with kaposiform lymphangiomatosis	Orphanet journal of rare diseases, 2019, 14(1), 215	Original Article
12	Ozeki M., Asada R., Saito A. M., et al.	小児科	Efficacy and safety of sirolimus treatment for intractable lymphatic anomalies: A study protocol for an open-label, single-arm, multicenter, prospective study (SILA)	Regen Ther, 2019, 10, 84-91	Original Article
13	Nozawa A., Ozeki M., Hori T., et al.	小児科	Fatal Progression of Gorham-Stout Disease with Skull Base Osteomyelitis and Lateral Medullary Syndrome	Intern Med, 2019, 58(13), 1929-1933	Case report
14	Ozeki M., Fukao T.	小児科	Generalized Lymphatic Anomaly and Gorham-Stout Disease: Overview and Recent Insights	Adv Wound Care (New Rochelle), 2019, 8(6), 230-245	Review
15	Ninomiya H., Kubota K., Kimura T., et al.	小児科	Immunoglobulin A vasculitis complicated with posterior reversible encephalopathy syndrome and reversible cerebral vasoconstriction syndrome	Pediatr Int, 2019, 61(8), 836-838	Case report
16	Kubota K., Shikano H., Fujii H., et al.	小児科	Levetiracetam-Associated Decrease in Pitch Perception	Am J Ther, 2019, 26(4), e527-e528	Case report
17	Abdelkreem E., Harijan R. K., Yamaguchi S., et al.	小児科	Mutation update on ACAT1 variants associated with mitochondrial acetoacetyl-CoA thiolase (T2) deficiency	Hum Mutat, 2019, 40(10), 1641-1663	Review
18	Kawamoto N., Kaneko H., Kawamoto M., et al.	小児科	Oral immunotherapy with antigenicity-modified casein induces desensitization in cow's milk allergy	Allergy, 2019, 75(1), 197-200	Letter
19	Nozawa A., Ozeki M., Matsuoka M., et al.	小児科	Perampanel Inhibits Neuroblastoma Cell Proliferation Through Down-regulation of AKT and ERK Pathways	Anticancer Res, 2019, 39(7), 3595-3599	Original Article
20	Ozeki M., Nozawa A., Kawamoto N., et al.	小児科	Potential biomarkers of kaposiform lymphangiomatosis	Pediatr Blood Cancer, 2019, 66(9), e27878	Original Article
21	Fukao T., Sasai H., Aoyama Y., et al.	小児科	Recent advances in understanding beta-ketothiolase (mitochondrial acetoacetyl-CoA thiolase, T2) deficiency	J Hum Genet, 2019, 64(2), 99-111	Review
22	Orii K., Lim A., Tomatsu S., et al.	小児科	Safety Study of Sodium Pentosan Polysulfate for Adult Patients with Mucopolysaccharidosis Type II	Diagnostics (Basel, Switzerland), 2019, 9(4),	Original Article

23	Ozeki M., Nozawa A., Yasue S., et al.	小児科	The impact of sirolimus therapy on lesion size, clinical symptoms, and quality of life of patients with lymphatic anomalies	Orphanet journal of rare diseases, 2019, 14(1), 141	Original Article
24	Watanabe T, Okada H, Shibuya K, et al.	検査部	"To and Fro" Paradoxical Thrombus in the Left Heart.	Circ J, 2019, 83(2), 491	Original Article
25	Takasugi N, Kubota T, Okura H.	第2内科	"Nonsignificant" early repolarization pattern on postresuscitation ECG as a harbinger of impending electrical storm	Ann Noninvasive Electrocardiol, 2019, 9, e12686	Original Article
26	Yoshida A, Kanamori H, Naruse G, et al.	第2内科	(Pro)renin Receptor Blockade Ameliorates Heart Failure Caused by Chronic Kidney Disease.	J Card Fail, 2019, 25(4), 286-300	Original Article
27	Sahashi Y, Watanabe T, Takasugi N, et al.	第2内科	Anterior early repolarization pattern and T-wave inversion in a healthy African-Japanese athlete	J Arrhythm, 2019, 35(6), 865-867	Others
28	Sahashi Y, Takasugi N, Yanagimoto TS, et al.	第2内科	Arteriovenous femoral fistula after insertion of leadless pacemaker-A case with an anomaly of the deep femoral artery	J Arrhythm, 2019, 35(5), 770-772	Original Article
29	Takasugi N, Matsuno H, Takasugi M, et al.	第2内科	Importance of over-reading ambulatory ECG-based microvolt T-wave alternans to eliminate three main sources of measurement error.	Ann Noninvasive Electrocardiol, 2019, 24(5), e12670	Original Article
30	Kanamori H, Naruse G, Yoshida A, et al.	第2内科	Metformin Enhances Autophagy and Provides Cardioprotection in δ-Sarcoglycan Deficiency-Induced Dilated Cardiomyopathy.	Circ Heart Fail, 2019, 12(4), e005418	Original Article
31	Takasugi N, Matsuno H, Takasugi M, et al.	第2内科	Response to the Letter to the Editor	Ann Noninvasive Electrocardiol, 2019, 24(6), e12720	Letter
32	Takasugi N, Kubota T, Okura H.	第2内科	Sinus impulse-triggered firing within the superior vena cava as an unusual cause of atrial bigeminy	J Cardiovasc Electrophysiol., 2019, 30(11), 2523-2524	Original Article
33	Naruse G, Kanamori H, Yoshida A, et al.	第2内科	The intestine responds to heart failure by enhanced mitochondrial fusion through glucagon-like peptide-1 signalling.	Cardiovasc Res, 2019, 115(13), 1873-1885	Original Article
34	Sahashi Y, Naruse G, Okura H.	第2内科	Three Different Types of Tachyarrhythmia and QT Prolongation in a Suicide Attempt.	Circulation, 2019, 139(23), 703-2706	Others

35	Mitta S, Kimata R, Ogura H, et al.	呼吸器外科	Coronary Stent Implantation Poses Lifelong Risk of Severe Infection or Even Death.	Journal of Coronary Artery Disease, 2019, 25(4), 102-106	Case report
36	Iwata H.	呼吸器外科	Importance of intraoperative fluid management.	J Thorac Dis., 2019, 11(Suppl 15), S2002-S2004	Others
37	Ishida N, Shimabukuro K, Mitta S, et al.	心臓血管外科	Thrashing petaloid flap in ascending aorta: aortic calcified amorphous tumour.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. , 2019, 20(2), 244	Case report
38	Komura S, Ito K, Ohta S, et al.	整形外科	Cell-type dependent enhancer binding of the EWS/ATF1 fusion gene in clear cell sarcomas.	Nat Commun., 2019, 10(1), 3999	Original Article
39	Komura S, Hirakawa A, Masuda T, et al.	整形外科	Chronological changes in surgical outcomes after trapeziectomy with ligament reconstruction and tendon interposition arthroplasty for thumb carpometacarpal osteoarthritis	Orthop Traumatol Surg Res, 2019, ,	Original Article
40	Kawashima K, Terabayashi N, Asano H, et al.	整形外科	Classification of Stress Fractures of the First Rib in Adolescent Athletes	Journal of Pediatric Orthopaedics B, 2019, ,	Original Article
41	Komura S, Hirakawa A, Yamamoto K, et al.	整形外科	Delayed rupture of the flexor tendons as a complication of malunited distal radius fracture after nonoperative management: A report of two cases	Trauma Case Rep., 2019, ,	Original Article
42	Nozawa S, Nakano A, Fujiwara K, et al.	整形外科	Interbody bone graft via transdiscal screw holes as a treatment for high-grade spondylolisthesis	World Neurosurg, 2019, , 383-388	Original Article
43	Komura S, Hirakawa A, Ishizuka K, et al.	整形外科	Mini hook plate fixation for thumb ulnar collateral ligament avulsion fracture: A technical report.	Orthop Traumatol Surg Res, 2019, 105(3), 429-433	Original Article
44	Nagano A, Matsumoto S, Kawai A, et al.	整形外科	Osteosarcoma in patients over 50 years of age: Multi-institutional retrospective analysis of 104 patients.	J Orthop Sci, 2019, , pii: S0949-2658(19)30128-9.	Original Article
45	Komura S, Hirakawa A, Ishizuka K, et al.	整形外科	Response to the Letter by Feipeng Gong, Zhiqiang Fan, Xiaozheng Tang, Baofu Yu.	Orthop Traumatol Surg Res., 2019, 105(6):, 1221-1222	Original Article
46	Hattori Y, Takeichi T, Akiyama M, et al.	皮膚科	Brooke-Spiegler syndrome with chronic obstructive pulmonary disease and chronic sinusitis	J Dermatol , 2019, 46, e200-202	Case report

47	Niwa H, Kawamura M, Moriya C, et al.	皮膚科	Cutaneous infection by Staphylococcus lugdunensis at the site where dermal filler was injected 17 years ago	J Dermatol , 2019, 46, e290-e292	Case report
48	Hattori Y, Matsuyama K, Shu E, et al.	皮膚科	Eosinophilic pneumonia and esophagitis in a patient with malignant melanoma treated with nivolumab	J Dermatol , 2019, 46, e454-e455	Case report
49	Fujii A, Fujii K, Seishima M	皮膚科	Generalized pustular psoriasis with CARD14 variant c.526G>C (p.Asp176His) successfully treated with granulocyte and monocyte adsorption apheresis	Ther Apher Dial, 2019, 23, 298-299	Case report
50	Kanoh H, Ishitsuka A, Fujine E, et al.	皮膚科	IFN-γ Reduces Epidermal Barrier Function by Affecting Fatty Acid Composition of Ceramide in a Mouse Atopic Dermatitis Model.	J Immunol Res., 2019, ,	Original Article
51	Hattori Y, Seishima M	皮膚科	Wells' syndrome associated with Trichophyton infection	J Dermatol , 2019, 46, e451-e452	Case report
52	Tsuchiya T, Imanaka K, Iwaki Y, et al.	泌尿器科	An open-label, phase 1 study of androgen receptor antagonist, apalutamide in Japanese patients with metastatic castration-resistant prostate cancer.	Int J Clin Oncol., 2019, 24(12), 1596-1604	Original Article
53	Horie K, Tsuchiya T, Iinuma K, et al.	泌尿器科	Risk factors and incidence of malignant neoplasms after kidney transplantation at a single institution in Japan.	Clin Exp Nephrol., 2019, 23(11), 1323-1330	Original Article
54	Iinuma K, Mizutani K, Kato T, et al.	泌尿器科	Spontaneous healing of rectal penetration by SpaceOAR® hydrogel insertion during permanent iodine-125 implant brachytherapy: A case report.	Mol Clin Oncol., 2019, 11(6), 580-582	Case report
55	Koie T, Ohyama C, Makiyama K, et al.	泌尿器科	Utility of robot-assisted radical cystectomy with intracorporeal urinary diversion for muscle-invasive bladder cancer.	Int J Urol., 2019, 26(3), 334-340	Original Article
56	Nakane K, Muramatsu Maekawa Y, et al.	泌尿器科	Utility technique of a totally intracorporeal ileal conduit after robot-assisted radical cystectomy.	Int J Urol., 2019, 26(11), 1083-1084	Original Article
57	Tanabe K, Kojima A, Tachi J, et al.	麻酔科疼痛治療科	Limitation by Rho-kinase and Rac of transforming growth factor-β-induced interleukin-6 release from astrocytes.	Neurosci Lett, 2019, 23, 191-196	Original Article
58	Sakata K, Kito K, Fukuoka N, et al.	麻酔科疼痛治療科	Cerebrovascular reactivity to hypercapnia during sevoflurane or desflurane anesthesia in rats.	, 2019, 72, 260-264	Original Article

59	Kim W, Tokuda H, Kawabata T, et al.	麻酔科疼痛治療科	Enhancement by HSP90 inhibitor of PGD2-stimulated HSP27 induction in osteoblasts: Suppression of SAPK/JNK and p38 MAP kinase.	Prostaglandins Other Lipid Mediat, 2019, 143, 106327	Original Article
60	Kazuhisa Ishida, Keizo Kato, Keisuke Inoue, et al.	歯科口腔外科	A case of herniation of the mylohyoid muscle with penetration of the sublingual gland	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 2019, 31, 189-191	Original Article
61	Sugiyama K, Nagashima K, Miwa T, et al.	歯科口腔外科	FGF2-responsive genes in human dental pulp cells assessed using a rat spinal cord injury model.	Bone Miner Metab. , 2019, 37(3), 467-474	Original Article
62	Shimata K, Hasegawa S, Nakao S, et al.	脳神経内科	Adverse event profiles of ifosfamide-induced encephalopathy analyzed using the Food and Drug Administration Adverse Event Reporting System and the Japanese Adverse Drug Event Report databases	Cancer Chemother Pharmacol, 2019, 84(5), 1097-1105	Original Article
63	Kimura A, Takekoshi A, Yoshikura N, et al.	脳神経内科	Autoimmune glial fibrillary acidic protein astrocytopathy	Clinical and Experimental Neuroimmunology, 2019, 10(4), 218-225	Review
64	Kimura A, Takekoshi A, Yoshikura N, et al.	脳神経内科	Clinical characteristics of autoimmune GFAP astrocytopathy	J Neuroimmunol, 2019, 332, 91-98	Original Article
65	Hayashi Y, Iwasaki Y, Waza M, et al.	脳神経内科	Clinicopathological findings of an MM2-cortical-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease patient with cortical blindness during a course of glaucoma and age-related macular degeneration	Prion, 2019, 13(1), 124-131	Case report
66	Kimura A, Takemura M, Yamamoto Y, et al.	脳神経内科	Cytokines and biological markers in autoimmune GFAP astrocytopathy: The potential role for pathogenesis and therapeutic implications	J Neuroimmunol., 2019, 334, 576999	Original Article
67	Tsunekawa, K., Shioiri, T.	精神科	Medical School Entrance Examination Reform and Affirmative Action as Counter Measures to Improve the Lower Incidence of Female Doctors in Japan	International Journal of Medical Research & Health Sciences, 2019, 8(4), 19-22	Original Article
68	Sugiyama, S., Kinukawa, T., Takeuchi, N., et al.	精神科	Tactile Cross-Modal Acceleration Effects on Auditory Steady-State Response	Frontiers in Integrative Neurosience, 2019, 13, 73	Original Article
69	Sugiyama, S., Kinukawa, T., Takeuchi, N., et al.	精神科	Change-Related Acceleration Effects on Auditory Steady State Response	Frontiers in Systems Neurosience, 2019, 13, 53	Original Article
70	Kumagai N, Enomoto Y, Miyai M, et al.	脳神経外科	A rare case of symptomatic carotid stenosis caused by mechanical simulation by thyroid cartilage and frequent swimming.	J Stroke Cerebrovasc dis, 2019, 28(3), 699-701	Case report

71	Enomoto Y, Mizutani D, Yoshimura S, et al.	脳神経外科	Changing paradigms of periprocedural antithrombotic therapy in neuroendovascular therapy: analysis of JR-NET 3.	Neurol Med Chir (Tokyo), 2019, 59(7), 247-256	Original Article
72	Kinoshita T, Egashira Y, Imai N, et al.	脳神経外科	Usefulness of preoperative transarterial feeder embolization of cerebellar hemangioblastomas.	JNET, 2019, 13(1), 16-20	Original Article
73	Funatsu N, Hayakawa M, Hashimoto T, et al.	脳神経外科	Vascular wall components in thrombi obtained by acute stroke thrombectomy: clinical significance and related factors.	J Neurointerv Surg, 2019, 11(3), 232-236	Original Article
74	Ogawa B, Aoki M, Ohnishi H, et al.	耳鼻咽喉科	The Long-Term Efficacy of Cochlear Implantation for Hearing Loss in Muckel-Wells Syndrome.	J Int Adv Otol., 2019, 15(3), 454-458	Case report
75	Yamamoto T	眼科	The impact of disc hemorrhage studies on our understanding of glaucoma: A systematic review 50 years after the rediscovery of disc hemorrhage.	Jpn J Ophthalmol , 2019, 63(1), 7-25	Review
76	Yagasaki A, Sawada A, Manabe Y, et al.	眼科	Clinical features of superior segmental optic hypoplasia: A hospital-based study.	Jpn J Ophthalmol , 2019, 63(1), 34-39	Original Article
77	Onda M, Niimi Y, Ozawa K, et al.	眼科	Human herpesvirus-6 corneal endothelitis after intravitreal injection of ranibizumab.	BMC Ophthalmol , 2019, 19(1), 19	Case report
78	Ozawa K, Mochizuki K, Takagi D, et al.	眼科	Identification and antifungal sensitivity of two new species of Diaporthe isolated.	J Infect Chemother, 2019, 25(2), 96-103	Case report
79	Ozawa K, Iwase T, Ito Y, et al.	眼科	Multimodal Imaging in Bilateral Nature of the Choroidal Osteoma After Intraocular Inflammation Caused by Harada Disease.	Retina., 2019, Jul 8., e40-e41.	Case report
80	Huang H, Bao W, Yamamoto T, et al.	眼科	Postoperative outcome of three different procedures for childhood glaucoma.	Clin Ophthalmol, 2019, 13, 1-7	Original Article
81	Ozawa K, Mochizuki K, Manabe Y, et al.	眼科	Reply to: Diagnosing MELAS requires not only an mtDNA variant but also an appropriate phenotype	Doc Ophthalmol, 2019, 138(3), 257-258	Others
82	Ozawa K, Mochizuki K, Manabe Y, et al.	眼科	Retinal dystrophy associated with a single-base deletion mutation in mitochondrial DNA 3271 in patient with MELAS syndrome.	Doc Ophthalmol, 2019, 138(2), 147-152	Case report

83	Yamamoto T.	眼科	Superior segmental optic hypoplasia as a differential diagnosis of glaucoma.	Taiwan J Ophthalmol, 2019, 9(2), 61-62	Review
84	Murata K, Ishida K, Ozawa K, et al.	眼科	The characteristics of Posner-Schlossman syndrome: A comparison in the surgical outcome between cytomegalovirus-positive and cytomegalovirus-negative patients.	Medicine (Baltimore), 2019, 98(48), e18123	Original Article
85	Bao W, Kawase K, Huang H, et al.	眼科	The long-term outcome of trabeculotomy: comparison with filtering surgery in Japan	BMC Ophthalmol , 2019, 19(1), 99	Original Article
86	Yamamoto T.	眼科	To reduce the number of blinded by glaucoma.	Taiwan J Ophthalmol, 2019, 9(2), 63-66	Others
87	Ozawa K, Takahashi S, Mochizuki K, et al.	眼科	Two cases of unilateral cone-rod dysfunction with negative electroretinograms.	Doc Ophthalmol., 2019, 139(3), 247-256	Case report
88	Yoshida K, Kodera Y, Kochi M, et al.	消化器外科	Addition of Docetaxel to Oral Fluoropyrimidine Improves Efficacy in Patients With Stage III Gastric Cancer: Interim Analysis of JACCRO GC-07, a Randomized Controlled Trial.	Journal of Clinical Oncology, 2019, 37(15), 1296-1304	Original Article
89	Matsuhashi N, Takahashi T, Fujii H, et al.	乳腺外科	Combination chemotherapy with TAS-102 plus bevacizumab in salvage-line treatment of metastatic colorectal cancer: A single-center, retrospective study examining the prognostic value of the modified Glasgow Prognostic Score	Molecular and Clinical Oncology, 2019, 11(4), 390-396	Original Article
90	Iwata Y, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Diabetic ketoacidosis caused by fulminant type 1 diabetes during adjuvant chemotherapy for colon cancer: A case report.	Molecular and Clinical Oncology , 2019, 11(2), 189-191	Case report
91	Tanaka Y, Yamada A, Hirata S, et al.	消化器外科	Efficacy and Safety of enoxaparin for Prophylaxis of Postoperative Venous Thromboembolism After Esophagectomy: A Single-center Prospective Randomized Controlled Phase II Study.	Anticancer Research, 2019, 39(5), 2615-2625	Original Article
92	Tokumaru Y, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Efficacy of combination therapy with zoledronic acid and cetuximab for unresectable rectal cancer with bone metastases: A case report.	Molecular and Clinical Oncology, 2019, 10(6), 571-574	Case report
93	Futamura M, Nakada T, Kawaguchi Y, et al.	乳腺外科	Examination of the Efficacy of Fulvestrant 500 mg Targeting Estrogen Receptor-Positive Postmenopausal Metastatic Breast Cancer: Prospective Observational Study (PerSeUS BC03 Study)	Clinics in Oncology , 2019, 4, 1633	Original Article
94	Tanaka Y, Ueno T, Yoshida N, et al.	消化器外科	Is Oral Mucositis Occurring During Chemotherapy for Esophageal Cancer Patients Correctly Judged? EPOC Observational Cohort Study.	Anticancer Research, 2019, 39(8), 4441-4448	Original Article

95	Yoshimi Asano,Tamotsu Takeuchi, Hiroshi Okubo, et al.	乳腺外科	Nuclear localization of LDL receptor-related protein 1B in mammary gland carcinogenesis.	Annals of Gastroenterological Surgery , 2019, 97(2), 257-268	Original Article
96	Tanahashi T, Yoshida K, Yamaguchi K, et al.	消化器外科	Questionnaire survey on adjuvant chemotherapy for elderly patients after gastrectomy indicates their vulnelabilities.	Gastric Cancer, 2019, 22(1), 130-137	Original Article
97	Fukada M, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Risk and early predictive factors of anastomotic leakage in laparoscopic low anterior resection for rectal cancer.	World Journal of Surgical Oncology , 2019, 17(1), 178	Original Article
98	Goto A, Matsuhashi N, Takahashi T, et al.	消化器外科	Single-incision laparoscopic ileocecal resection in a 10-year-old child with appendiceal neuroendocrine tumor.	World Journal of Surgical Oncology , 2019, 17(1), 197	Case report
99	Tokumaru Y, Tajirika T, Sugito N, et al.	乳腺外科	Synthetic miR-143 Inhibits Growth of HER2-Positive Gastric Cancer Cells by Suppressing KRAS Networks Including DDX6 RNA Helicase.	International Journal of Molecular Sciences, 2019, 20(7), 1697	Original Article
100	Mori R, Yoshida K, Futamura M, et al.	乳腺外科	The inhibition of thymidine phosphorylase can reverse acquired 5FU-resistance in gastric cancer cells.	Gastric Cancer, 2019, 22(3), 497-505	Original Article
101	Imai T, Tanaka Y, Adachi T, et al.	消化器外科	Theracoscopic subtotal esophagectomy via a right thoracic cavity approach to treat an intractable fistula after 20 months from onset of an idiopathic esophageal rupture: A case report.	Asian Journal of Endoscopic Surgery, 2019, ,	Case report
102	Ando N, Iwata K, Yamazaki K, et al.	第1内科	A case of liver hilar tuberculous lymphadenitis complicated by biliary stricture diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	Clin J Gastroenterol, 2019, 12, 57-62	Case report
103	Arao M, Kubota M, Ibuka T, et al.	第1内科	A rare complication of colonoscopy: Iatrogenic right inguinal hernia of the ascending colon.	Am J Gastroenterol, 2019, 114, 1707	Case report
104	Maeda T, Sakai H, Ozawa N, et al.	第1内科	Acute cytomegalovirus infection in an immunocompetent patient with ulcerative colitis: A case report.	Exp Ther Med, 2019, 18, 2271-2277	Case report
105	Hanai T, Shiraki M, Miwa T, et al.	第1内科	Effect of loop diuretics on skeletal muscle depletion in patients with liver cirrhosis.	Hepatol Res, 2019, 49, 82-95	Original Article
106	Takada J, Araki H, Ozawa N, et al.	第1内科	Effective treatment of cytotoxic agent refractory alpha-fetoprotein-producing gastric cancer with ramucirumab: a case report and review of the literature.	J Gastrointest Cancer, 2019, 50, 556-559	Case report

107	Yoshida K, Iwashita T, Uemura S, et al.	第1内科	Efficacy of contrast-enhanced EUS for lymphadenopathy: a prospective multicenter pilot study (with videos).	Gastrointest Endosc, 2019, 90, 242-250	Original Article
108	Maruta A, Iwashita T, Uemura S, et al.	第1内科	Efficacy of the endoscopic ultrasound-first approach in patients with suspected common bile duct stone to avoid unnecessary endoscopic retrograde cholangiopancreatography.	Intern Med, 2019, 58, 1673-1679	Original Article
109	Okuno M, Mukai T, Ichikawa H, et al.	第1内科	Endoscopic replacement technique for migrated lumen-apposing metal stent during endoscopic pancreatic necrosectomy.	Video GIE, 2019, 4, 220-222	Case report
110	Iwashita T, Uemura S, Shimizu M, et al.	第1内科	Endoscopic ultrasound-guided fine-needle injection of hydrogen peroxide into the pancreas: feasibility and tolerability study using a survival porcine model.	Ultrasound Med Biol, 2019, 45, 579-585	Original Article
111	Iwashita T, Yasuda I, Shimizu M.	第1内科	Endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition: Can fork and crown cut the tissue?	Dig Endosc , 2019, 31, 146-147	Original Article
112	Okuno M, Mukai T, Iwashita T, et al.	第1内科	Evaluation of endoscopic reintervention for self-expandable metallic stent obstruction after stent-in-stent placement for malignant hilar biliary obstruction.	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2019, 26, 211-218	Original Article
113	Imai K, Takai K, Hanai T, et al.	第1内科	Homeostatic model assessment of insulin resistance for predicting the recurrence of hepatocellular carcinoma after curative treatment.	Int J Mol Sci, 2019, 20, E605	Original Article
114	Miwa T, Ibuka T, Ozawa N, et al.	第1内科	Idiopathic Ileocolonic varices coexisting with a colon polyp treated successfully by endoscopy: A case report and literature review.	Internal Med, 2019, 58, 3401-3407	Case report
115	Hanai T, Shiraki M, Watanabe S, et al.	第1内科	Prognostic significance of minimal hepatic encephalopathy in patients with liver cirrhosis in Japan: A propensity score-matching analysis.	J Gastroenterol Hepatol , 2019, 34, 1809-1816	Original Article
116	Onishi S, Tajika M, Tanaka T, et al.	第1内科	Prognostic Significance of Sarcopenia in Patients with Unresectable Advanced Esophageal Cancer.	J Clin Med, 2019, 8.pii, E1647	Original Article
117	Imai, K, Takai K, Miwa T, et al.	第1内科	Rapid depletions of subcutaneous fat mass and skeletal muscle mass predict worse survival in patients with hepatocellular carcinoma treated with sorafenib.	Cancers (Basel) , 2019, 11, 1206	Original Article
118	Hanai T, Shiraki M, Imai K, et al.	第1内科	Reduced handgrip strength is predictive of poor survival among patients with liver cirrhosis: A sex-stratified analysis.	Hepatol Res, 2019, 49, 1414-1426	Original Article

119	Takada J, Araki H, Mizutani T, et al.	第1内科	Safety of carbon dioxide insufflation during endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma.	Dig Dis, 2019, 37, 93-99	Original Article
120	Mita N, Iwashita T, Uemura S, et al.	第1内科	Second-line gemcitabine plus nab-paclitaxel for patients with unresectable advanced pancreatic cancer after first-line FOLFIRINOX failure.	J Clin Med, 2019, 8:pii, E761	Original Article
121	Yamazaki K, Yoshida Y, Maruta A, et al.	第1内科	Video case report (Editor's Choice) Endoscopic resection of a giant fibrovascular esophageal polyp by use a scissor-type knife.	Video GIE, 2019, 4, 451-453	Case report
122	Nakamura N, Maruyama D, Maeshima AM, et al.	血液内科	Multiple myeloma with IGH-FGFR3 rearrangement progressing as testicular plasmacytoma during carfilzomib treatment.	Ann Hematol, 2019, 98, 2463-2465	Case report
123	Nakamura N, Ninomiya S, Matsumoto T, et al.	血液内科	Prognostic impact of skeletal muscle assessed by computed tomography in patients with acute myeloid leukemia.	Ann Hematol, 2019, 98, 351-359	Original Article
124	Mizoguchi T, Shimaoka R, Morishige K-I	産婦人科	An Aberrant Collateral Vessel in a Woman with a History of Uterine Artery Embolization	AJOG, 2019, ,	Case report
125	Furui T, Takai Y, Kimura F, et al.	産婦人科	Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan	Reprod Med Biol, 2019, 18(1), 97-104	Original Article
126	Furui T, Takai Y, Kimura F, et al.	産婦人科	Problems of reproductive function in survivors of childhoodand adolescent and young adult-onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan	Reprod Med Biol, 2019, 18(1), 105-110	Original Article
127	Noda Y, Goshima S, Suzui N, et al.	放射線科	Pancreatic MRI associated with pancreatic fibrosis and postoperative fistula: comparison between pancreatic cancer and non-pancreatic cancer tissue.	Clin Radiol, 2019, 74(6), 490.e1-490.e6.	Original Article
128	Fujimoto K, Kato H, Kaneko Y, et al.	放射線科	Clavicle fracture following neck dissection: imaging features and natural course.	Br J Radiol, 2019, 92(1100), 20190054	Original Article
129	Kawaguchi M, Kato H, Nakano M, et al.	放射線科	Clinical features of bone metastasis with extraosseous soft-tissue mass in prostate cancer patients.	Br J Radiol open, 2019, 1, 20180042	Original Article
130	Noda Y, Goshima S, Tsuji Y, et al.	放射線科	Correlation of quantitative pancreatic T1 value and HbA1c value in subjects with normal and impaired glucose tolerance.	J Magn Reson Imaging, 2019, 49(3), 711-718	Original Article

131	Kawaguchi M, Kato H, Aoki M, et al.	放射線科	CT and MR imaging findings of infection-free and benign second branchial cleft cysts.	Radiol Med, 2019, 124(3), 199-205	Original Article
132	Kawaguchi M, Kato H, Hara A, et al.	放射線科	CT and MRI characteristics for differentiating mediastinal Müllerian cysts from bronchogenic cysts.	Clin Radiol., 2019, 74(12), 976.e19-976.e25	Original Article
133	Kawaguchi M, Kato H, Matsuo M.	放射線科	CT and MRI features of scalp lesions	Radiol Med, 2019, 124(10), 1049-1061	Original Article
134	Kawai N, Goshima S, Noda Y, et al.	放射線科	Gadoxetic acid-enhanced dynamic magnetic resonance imaging using optimized integrated combination of compressed sensing and parallel imaging technique.	Magn Reson Imaging, 2019, 57, 111-117	Original Article
135	Kaneko Y, Kato H, Matsuo M	放射線科	Hilar and mediastinal sarcoid-like reaction after the treatment of malignant tumors: imaging features and natural course on 18F-FDG-PET/CT.	Jpn J Radiol, 2019, 37(1), 88-94	Original Article
136	Tanaka H, Nakashima Y, Ito M, et al.	放射線科	Intensity-modulated radiation therapy for elderly patients (aged ≥75 years) with localized prostate cancer: Comparison with younger patients (aged <75 years).	Mol Clin Oncol, 2019, 10(4), 476-480	Original Article
137	Nagata S, Goshima S, Noda Y, et al.	放射線科	Magnetic resonance cholangiopancreatography using optimized integrated combination with parallel imaging and compressed sensing technique.	Abdom Radiol (NY), 2019, 44(5), 1766-1772	Original Article
138	Kawaguchi M, Kato H, Suzui N, et al.	放射線科	MR imaging findings differentiating uterine submucosal polypoid adenomyomas from endometrial polyps.	Br J Radiol, 2019, 92(1095), 20180430	Original Article
139	Tanaka H, Kawaguchi M, Shoda S et al.	放射線科	Nuclear Accumulation of β-Catenin in Cancer Stem Cell Radioresistance and Stemness in Human Colon Cancer.	Anticancer Res, 2019, 39(12), 6575-6583	Original Article
140	Kato H, Esaki K, Yamaguchi T, et al.	放射線科	Predicting Early Response to Chemoradiotherapy for Uterine Cervical Cancer Using Intravoxel Incoherent Motion MR Imaging.	Magn Reson Med Sci, 2019, 18(4), 293-298	Original Article
141	Noda Y, Goshima S, Tsuji Y, et al.	放射線科	Prognostic evaluation of pancreatic ductal adenocarcinoma: Associations between molecular biomarkers and CT imaging findings.	Pancreatology, 2019, 19(2), 331-339	Original Article
142	Kawaguchi M, Kato H, Goshima S, et al.	放射線科	Response to Pilomatricoma (calcifying epithelioma): MDCT and MR imaging findings in 31 patients with radiological-pathological correlation.	Eur J Radiol, 2019, 118, 293	Original Article

143	Fujii H, Matsuhashi N, Kitahora M, et al.	薬剤部	Bevacizumab in Combination with TAS-102 Improves Clinical Outcomes in Patients with Refractory Metastatic Colorectal Cancer: A Retrospective Study	Oncologist, 2019, , pii: theoncologist.2019-0541	Original Article
144	Fujibayashi A, Niwa T, Takeichi S, et al.	薬剤部	Clinical impact of a prospective audit with intervention and feedback without carbapenem restriction in patients receiving carbapenem injection	Int J Clin Pract, 2019, 73(1), e13262	Original Article
145	Niwa T, Yonetamari J, Hayama N, et al.	薬剤部	Clinical impact of matrix-assisted laser desorption ionization-time of flight mass spectrometry combined with antimicrobial stewardship interventions in patients with bloodstream infections in a Japanese tertiary hospital	Int J Clin Pract, 2019, 73(5), e13332	Original Article
146	Iihara H, Shimokawa M, Gomyo T, et al.	薬剤部	Clinical trial protocol of doublet therapy and olanzapine for carboplatin-induced nausea and vomiting in patients with thoracic cancer: a multicentre phase II trial	BMJ Open, 2019, 9(7), e028056	Original Article
147	Kato-Hayashi H, Niwa T, Ohata K, et al.	薬剤部	Comparative efficacy and safety of vancomycin versus teicoplanin in febrile neutropenic patients receiving hematopoietic stem cell transplantation	J Clin Pharm Ther, 2019, 44(6), 888-894	Original Article
148	Fujii H, Yamada Y, Watanabe D, et al.	薬剤部	Dose adjustment of irinotecan based on UGT1A1 polymorphisms in patients with colorectal cancer	Cancer Chemother Pharmacol, 2019, 83(1), 123-129	Original Article
149	Hayashi H, Iihara H, Hirose C, et al.	薬剤部	Effects of pharmacokinetics-related genetic polymorphisms on the side effect profile of afatinib in patients with non-small cell lung cancer	Lung Cancer, 2019, 134, 1-6.	Original Article
150	Yamada Y, Fujii H, Ohata K, et al.	薬剤部	High total bilirubin level is a significant risk factor for severe neutropenia in patients receiving irinotecan-based chemotherapy	Med Oncol, 2019, 36(7), 63	Original Article
151	Yamada Y, Ohno Y, Kato Y, et al.	薬剤部	Optimal dose of sunitinib for long-term treatment in Japanese patients with renal cell carcinoma	Cancer Chemother Pharmacol, 2019, 84(5), 987-992	Original Article
152	Hirose C, Iihara H, Funaguchi N, et al.	薬剤部	Prophylactic effect of rikkunshito, an herbal medicine, for chemotherapy-induced nausea in thoracic cancer patients receiving carboplatin-based chemotherapy	Pharmazie, 2019, 74(10), 620-624	Original Article
153	Iihara H, Fujii H, Yoshimi C, et al.	薬剤部	Prophylactic effect of scopolamine butylbromide, a competitive antagonist of muscarinic acetylcholine receptor, on irinotecan-related cholinergic syndrome	Cancer Chemother Pharmacol, 2019, 83(3), 393-398	Original Article
154	Yamada Y, Ohno Y, Niwa T, et al.	薬剤部	Rapid attainment of target trough concentrations of tacrolimus for early improvement of clinical symptoms in patients with ulcerative colitis	J Clin Pharm Ther, 2019, 44(3), 409-414	Original Article

155	Iihara H, Shimokawa M, Abe M, et al.	薬剤部	Study protocol for an open-label, single-arm, multicentre phase II trial to evaluate the efficacy and safety of combined triplet therapy and olanzapine for prevention of carboplatin-induced nausea and vomiting in gynaecological	BMJ Open, 2019, 9(1), e024357	Original Article
156	Ito-Takeichi S, Niwa T, Fujibayashi A, et al.	薬剤部	The impact of implementing an antifungal stewardship with monitoring of 1-3, β-D-glucan values on antifungal consumption and clinical outcomes	J Clin Pharm Ther, 2019, 44(3), 454-462	Original Article
157	Yasuda R, Minami K, Ogawa A, et al.	高次救命治療センター	Herpes zoster and meningitis in an immunocompetent child: a case report.	J Med Case Rep, 2019, 2019 Jun 15;13(1), 182	Case report
158	Tachi M, Okada H, Matsuhashi N, et al.	高次救命治療センター	Human Colorectal Cancer Infrastructure Constructed by the Glycocalyx.	J Clin Med, 2019, 2019 Aug 22;8(9). pii:, E1270	Original Article
159	Kumada K, Murakami N, Okada H, et al.	高次救命治療センター	Incidental findings on whole-body computed tomography in trauma patients : the current state of incidental findings and the effect of implementation of a feedback system.	Acute Medicine & Surgery, 2019, , 274-278	Original Article
160	Miyake T, Obayashi O, Kanda A, et al.	高次救命治療センター	Paradoxical Embolization of the Bilateral Subclavian Arteries After High Tibial Osteotomy.	J Am Acad Orthop Surg Glob Res Rev, 2019, 3(8), e044	Original Article
161	Naruse G, Kanamori H, Yoshida A, et al.	第2内科	The intestine responds to heart failure by enhanced mitochondrial fusion through glucagon-like peptide-1 signalling.	Cardiovasc Res, 2019, 115(13), 1873-1885	Original Article
162	Matsuhashi N, Takahashi T, Fujii H, et al.	消化器外科	Preventive Effect and Safety of Pregabalin for FOLFOX-Related Peripheral Neurotoxicity in Patients with Advanced and Recurrent Colorectal Cancer: The Perpetual Study Estimated by United Sections in Gifu for Colorectal	Clinics of Oncology, 2019, 1(6), 1-6	Original Article
163	Ogawa H, Matsumoto K, Akiyama H	整形外科	ACL degeneration after an excessive increase in the medial proximal tibial angle with medial open wedge high tibial osteotomy.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc., 2019, 27(10), 3374-3380	Original Article
164	Ogawa H, Matsumoto K, Akiyama H.	整形外科	Effect of increased posterior tibial slope on the anterior cruciate ligament status in medial open wedge high tibial osteotomy in an uninjured ACL population.	Orthop Traumatol Surg Res, 2019, 105(6), 1085-1091	Original Article
165	Kobayashi K, Watanabe N, Oka T, et al.	病理部	A case of lung adenocarcinoma complicated by pulmonary talcosis occurring in a patient employed in the confectionery industry.	Pathol Int, 2019, 69(4), 229-234	Case report

計165件

（注） 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。

記載例：　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　／　Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
～					

計　件

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 委員会提出書類、予備審査、研究計画の判定、重篤な有害事象への対応等	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
　　2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・　規定の主な内容 委員組織、所掌業務、会議、報告等	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年14回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年30回
・研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針について、倫理審査委員会申請書類について等	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

岐阜大学医学部附属病院は，先進医療を提供し，地域医療の中核を担う能力を備えた医師を育成するため，2年間の初期研修を修了した医師を対象に，その分野での卓越した専門医の育成を行っている。

○優れた指導医によるきめ細かい指導体制
優れた知識と経験をもつ多数の指導医の下で質の高い研修を実施。
メジャーな診療科だけでなく大学病院ならではのマイナー科と呼ばれる診療科にも多数の指導医を配置。

○豊富な知識・経験を持つ専門医を育成
大学病院や関連病院で豊富な臨床経験を積み基礎的な力を養いながら専門医を取得でき、また，大学院へ進むことも可能で，希望者は基礎研究，臨床研究を行い，医学博士の取得を目指すことも可能。

○豊富な機材を利用したシミュレーション教育
岐阜大学医学部附属病院が所有している内視鏡手術トレーニングセンターのシミュレーターを利用したトレーニングを実施。

○研修例
•１年目 岐阜大学病院
•２～３年目 連携施設
•４年目以降 専門医取得→各種領域専門医申請

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	92人

（注）前年度の研修医の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
末次　淳	内科・消化器内科	医局長	22年	
兼村　信宏	内科・血液内科	副科長	21年	
金森　寛充	内科・循環器内科	准教授	22年	
大野　康	内科・呼吸器内科	副科長	30年	
吉田　学郎	内科・腎臓内科	臨床講師	16年	
矢部　大介	内科・糖尿病代謝内科	科長	13年	
諏訪　哲也	内科・免疫・内分泌内科	副科長	25年	
下畑　享良	内科・脳神経内科	科長	29年	
池田　貴英	内科	副科長	18年	
土井　潔	外科・心臓血管外科	科長	30年	
岩田　尚	外科・呼吸器外科	科長	30年	
奥村　直樹	外科・消化器外科	医局長	20年	
二村　学	外科・乳腺外科	科長	33年	
早崎　容	産婦人科	医局長	24年	
野澤　聡	整形外科	医局長	22年	
岩間　亨	脳神経外科	科長	36年	
澤田　明	眼科	講師	28年	
小川　武則	耳鼻咽喉科	科長	22年	
清島　真理子	皮膚科	科長	40年	

水谷　晃輔	泌尿器科	准教授	18年	
深尾　琢	精神科	医局長	28年	
大西　秀典	小児科	副科長	22年	
川田　紘資	放射線科	講師	12年	
福岡　尚和	麻酔科	医局長	20年	
吉田　隆浩	救急科	医局長	26年	
加藤　恵三	歯科	副科長	28年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ①検査部セミナー　（症例検討、学会発表予演会、業務に関する研修会など） ②心エコーカンファレンス　（webセミナー） ③感染管理フォローアップ研修：看護部認定感染管理コース修了者対象フォローアップ研修 ④褥瘡ケアフォローアップ研修：看護部認定褥瘡ケアコース修了者対象フォローアップ研修 ⑤集中ケアフォローアップ研修：看護部認定褥瘡ケアコース修了者対象フォローアップ研修 ⑥がん看護ELNEC－J研修：所属部署でがん看護に関する役割モデルとなる看護師の育成 ⑦フィジカルアセスメント研修：フィジカルアセスメントの知識と技術を習得する ⑧診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等）、診療用放射線照射装置に係る定期研修会 ・研修の期間・実施回数 ①検査部セミナー：1回／月 ②心エコーカンファレンス：1回／月 ③感染管理フォローアップ研修：平成31年3月開催、1時間 ④褥瘡ケアフォローアップ研修：令和元年6月開催、1時間 ⑤集中ケアフォローアップ研修：令和元年6月開催、1時間 ⑥がん看護ELNEC－J研修：令和元年8月開催、全2回×8時間 ⑦フィジカルアセスメント研修：令和元年9月～1月開催、全4回×1.5時間 ⑧診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等）、診療用放射線照射装置に係る定期研修会：２回／年 ・研修の参加人数

①検査部セミナー　20～30名

②心エコーカンファレンス（webセミナー）　約20名

③感染管理フォローアップ研修：1名

④褥瘡ケアフォローアップ研修：1名

⑤集中ケアフォローアップ研修：3名

⑥がん看護ELNECーJ研修：18名+院外6名

⑦フィジカルアセスメント研修：3名

⑧第１回（令和元年６月４，７日）　１７名

　第２回（令和２年１月１５，１６日）　１７名

②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

①リーダーのあり方と問題解決：リーダーシップ、問題解決技法、自部署の業務改善と実践報告

②リーダーナースとしての業務管理：組織における自身の位置づけと役割を理解し業務を遂行する上でリーダーナースとしての物品管理について必要な知識を習得する

③災害看護：大規模災害における大学病院や看護師の役割を学び、患者の安全、指示命令系統、情報伝達、治療について理解できる。シミュレーション研修

④令和元年度放射線治療品質管理士講習会

・研修の期間・実施回数

①リーダーのあり方と問題解決：令和元年5月～令和2年1月開催、15.25時間

②リーダーナースとしての業務管理：令和元年7月開催、講義1.5時間

③災害看護：令和元年7月開催、講義・演習6.5時間

④令和２年２月２日

・研修の参加人数

①リーダーのあり方と問題解決：15名 ②リーダーナースとしての業務管理：19名 ③災害看護：20名 ④２名
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ①救急撮影認定技師実施研修 ・研修の期間・実施回数 ①２回 ・研修の参加人数 ①第１回（令和元年１１月１５，１８日）　２名 第２回（令和元年１２月６，９日）　１名

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　　(2.) 現状
管理責任者氏名	病院長　吉田　和弘
管理担当者氏名	事務部長　早野　美里 総務課長　畠山　哲大 経営企画課長　坪井　豊 医事課長　太田　恵美子 医療支援課長　齋藤　敦 施設主幹　白井　隆司 看護部長　廣瀬　泰子 生体支援センター長　馬場　尚志 放射線部長　松尾　政之 高次救命治療センター長　小倉　真治 薬剤部長　鈴木　昭夫

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	・2004年6月より電子カルテで運用していることから、診療情報は医療情報部のサーバー室に保管されています。 ・電子カルテ稼働以前の紙媒体については、診療録は患者の最終受診日から起算して10年と定め、フィルム等諸記録については3年、医事課カルテ庫にて施錠保管しています。 ・診療録の院外持ち出しは禁止しています。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術部	
		看護記録	看護部	
		検査所見記録	医事課	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	医事課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	・法律の規定に定められた保存年数を「国立大学法人岐阜大学法人文書ファイル保存要領」に基づき保管している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部事務部臨床研究係	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課・医療支援課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	・指針は、医療安全マニュアルに入れている、また病院ホームページにも公表している。 ・法律の規定に定められた保存年数を「国立大学法人岐阜大学法人文書ファイル保存要領」に基づいて保管している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	

			保管場所	管理方法
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	生体支援センター	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	生体支援センター	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	生体支援センター	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室 医療支援課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室 医療支援課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理室 医療支援課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室 医療支援課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	生体支援センター	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	臨床倫理室	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療録管理室	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理室	
		職員研修の実施状況	総務課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理室	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総合企画部	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	１．計画　　（２．）現状	
閲覧責任者氏名	事務部長　　早野　美里	
閲覧担当者氏名	医事課長　　太田　恵美子	
閲覧の求めに応じる場所	医事課・医療支援課事務室内　カルテ閲覧室	

閲覧の手続の概要
閲覧しようとする者は、閲覧申込書を原則として、閲覧を希望する２週間前までに提出し、病院長の承認を得る。
病院長は、前項の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付。
閲覧に関しては、閲覧担当者が立ち会う。ただし、閲覧担当者に事故があるとき又は閲覧する諸記録によっては、あらかじめ閲覧責任者が指名する者が立ち会う。
閲覧を承諾された者は、閲覧に立ち会う本学職員の指示に従い、万一従わない場合は、閲覧を中止する。
諸記録の貸出し、複写及び撮影は行わない。

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １．医療安全管理に関する基本的な考え方 ２．医療安全のための組織 ３．医療安全管理のための職員研修・教育 ４．インシデント報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 ５．医療事故等の発生時の対応 ６．医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ７．患者からの相談への対応に関する基本方針 ８．医療安全管理の推進 ９．高難度新規医療技術等を用いた医療の提供	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（(有)・無　） ・　開催状況：年12回 ・　活動の主な内容： 次の各号に掲げる事項を審議する。 １．医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。 ２．医療安全管理のための職員研修に関すること。 ３．医療事故及びインシデントに関する情報の収集並びに原因の究明のための調査及び分析に関すること。 ４．前号の分析の結果を活用した改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。 ５．前号の改善のための方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 ６．入院患者の死亡報告及び３ｂ以上のインシデント報告の実施状況の確認に関すること。 ７．前号の実施状況が不十分な場合における職員への研修及び指導に関すること。 ８．医療安全マニュアルの作成に関すること。 ９．その他医療事故防止に関すること。	
③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 20 回
・　研修の内容（すべて）： １）医療安全・感染対策等研修会（2回） 〇第１回 ・医療安全管理 「画像診断レポート等の確認に関する安全管理」 「心電図モニタの管理について」 「RRS・エマジコールの現状について」 ・医療ガス安全管理 「医療ガスの取り扱いについて」 〇第２回 ・医療安全管理 「最近の事例から」 「診療録記載の注意点について」 ・医薬品の医療安全	

「持参薬のインシデントから学ぶ」

２）新採用・中途採用職員研修（全職種）（1回）
〇病院の医療安全管理について

３）研修医セミナー（5回）
〇医療安全について

４）看護師研修
・レベルⅠ研修（3回）
〇心電図モニタの取り扱いについて
〇老年看護：患者の安全管理（チューブトラブル・転倒転落の予防）
〇静脈注射看護師育成研修（安全対策）
・レベルⅢ以上（1回）
〇BLS研修：看護部教育と協働
・看護師対象（1回）
〇心電図モニタ管理について

５）看護補助者研修（3回）
〇医療安全について（対象者別に開催：派遣、病院採用、中途採用）

６）育休復帰予定者（1回）
〇医療安全について（復習と最近の動向）

７）新任リスクマネジャー研修（1回）
〇リスクマネジャーの役割について、インシデント報告システム機能説明

８）業者向け研修（1回）
〇医療安全について

９）薬剤部研修（1回）
〇医療安全について

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機関内における事故報告等の整備　（ 有・無 ）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

・医療安全管理室員会議では、週報をもとに事例の確認及び改善策等の検討を行った。（48回開催）
・拡大医療安全管理室員会議では、院内での専門的検討が必要と判断した事例について、原因究明に関することや再発防止策の提言に関することについて審議した。（7回開催）
・重大な医療事故に関しては医療事故対策委員会を開催し、原因調査・分析及び再発防止策の提言に関することについて審議した。（1回開催）
・各部署のリスクマネジャーで構成されるリスクマネジャー会議では、医療安全に関する業務改善等の情報共有、意見交換等を行った。（5回開催）

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １．病院感染対策に関する基本的な考え方 ２．病院感染対策の組織 ３．職員教育・研修に関する基本方針 ４．感染症発生状況の報告に関する基本方針 ５．病院感染発生時の対応に関する基本指針 ６．患者への情報提供と説明 ７．病院感染対策の推進	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・　活動の主な内容： 〇病院感染の発生状況、抗菌薬の使用状況について 〇病院感染対策の検討および推進に関すること 〇病院感染対策に係る職員研修の企画に関すること 〇病院感染対策に係る啓蒙及び広報に関すること 〇病院感染発生時の医療現場との連絡調整に関すること	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 23 回
・　研修の内容（すべて）： １）医療安全・感染対策等研修会 〇第１回 ・感染対策：「院内感染対策の基本」 ・抗菌薬の適正使用：「抗菌薬適正使用の基本」 〇第２回医療安全・感染対策合同研修会 ・感染対策：「感染対策マニュアルの改訂内容」 ・抗菌薬の適正使用：「効果を高める抗菌薬の投与法」 ２）生体支援センターセミナー 〇第２回「適切な感染制御のために必要な知識と対応」 ３）新入職員研修（新入職員対象・2回） 〇手指衛生、個人防護具装着の方法と実際 ４）育児休業からの職場復帰プログラム(3回) 〇感染対策について ５）中途採用看護補助者研修（1回） 〇業務における感染対策 ６）看護師研修 ・レベルⅠ研修 〇感染対策について　シミュレーション（2回） 〇静脈注射プログラム：血流感染防止、針刺し防止（2回） 〇血管内留置カテーテル関連感染と防止対策 ・レベルⅡ研修 〇多重業務における　手指衛生のタイミング ７）看護補助者研修（2回） 〇業務における感染対策	

８）看護補助者（派遣）研修（4回） 〇感染対策について ９）清掃業者研修（2回） 〇感染対策の基本、インフルエンザとノロウイルス
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況
・　病院における発生状況の報告等の整備　　（ 有・無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・院内感染サーベイランスの実施と分析・評価 ・アウトブレイクが疑われた場合は、各部署へ情報提供及び指導の徹底 ・ICTミーティング（50回開催）と病院内ラウンドによる医療関連対策の徹底 ・抗菌薬の適正使用推進のための抗菌薬適正使用支援チームによる抗菌薬投与患者の評価および介入 ・職員対象に予防接種（インフルエンザ、HBワクチン、4種ウイルス感染症など）の実施

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年　3　回
・　研修の主な内容： 2019年4月1日　新入職員研修会 2019年7月19日　新規採用看護師研修会 2020年2月3日～2月10日　医療安全・感染対策等研修会	
③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・　手順書の作成　（(有)・無　） ・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 業務手順書は電子カルテのオンラインマニュアル内に掲載して、常に業務手順が確認できるようにしており、必要に応じて随時改訂を行っている。また、業務手順書に準拠したチェックリストを作成して、年2回(2019年度は7月および2月)、院内全部署を対象として業務の実施状況を評価している。業務手順書が遵守できていない状況が認められれば、業務の見直し、改善を行うよう指導している。	
④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医薬品に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 2019年度は未承認等の医薬品の使用事例はなかった。 ・　その他の改善のための方策の主な内容： 適宜、副作用情報等の注意事項についてＤＩニュース等で周知し、 医薬品の安全使用に努めている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年　30　回
・　研修の主な内容： 〇新規購入医療機器（10回） 〇閉鎖式保育器（2回） 〇人工呼吸器（6回） 〇血液浄化機器（3回） 〇高エネルギー放射線発生装置（2回） 〇診療用放射線照射装置（2回） 〇人工心肺装置及び補助循環装置（3回） 〇除細動装置及び自動体外式除細動器（2回）	
③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・　医療機器に係る計画の策定　　（(有)・無　） ・　機器ごとの保守点検の主な内容： 〇人工呼吸器、人工心肺装置、除細動装置、十二誘導心電計、血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波ネブライザーは使用毎の保守点検を医療機器センターで実施 〇血液浄化部の多人数用血液透析装置は2年に1度業者による点検実施 〇放射線装置は期限毎に業者と保守点検の契約を結び実施（機器により、半年から2年毎）	
④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機器に係る情報の収集の整備　　（(有)・無　） ・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・　その他の改善のための方策の主な内容： 〇人工呼吸器について ：医療機器センター技士による人工呼吸器管理中患者のラウンドを毎日実施 呼吸療法支援チームの活動として、病棟の人工呼吸器管理患者のラウンドを週2回実施 会議では人工呼吸器関連のインシデント報告や情報を検討し院内に周知 〇医療機器の添付文書等の収集、PMDAメディナビへの登録を実施し情報収集 〇医療機器に関する院内の安全情報をメーカーやMEセンターから医療安全管理室に集めており、必要に応じて、院内全体または該当部署に「安全情報」「医療安全トピックス」の配付などにより周知 〇医療機器の不具合、医療機器に関連した健康被害が発生した際も医療安全管理室に報告	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無

・責任者の資格（(医師)・歯科医師）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

医療安全管理の統括責任者として医療安全管理責任者を置き、医療安全を担当する副病院長をもって充て、医療安全管理室及び医療安全管理委員会を統括している。医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は医療安全管理委員会の構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（３名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

厚生労働省、PMDA、製薬会社、書籍、インターネット等より、常に最新の医薬品情報を収集している。収集した情報は評価・加工して、DI ニュースにより医療スタッフ(医師、看護師等)へ情報を発信している(2019 年度は 64 件の DI ニュースを発信している)。全職員への周知のため、周知確認表に基づいた閲覧確認を行っており、また、各病棟担当薬剤師からも直接情報提供を行っている。
院内ホームページや電子カルテ医薬品情報システム(JUSDI)では、全ての医療スタッフが最新の添付文書等を閲覧できる環境を整備するとともに、各種の医薬品情報を随時配信している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

1. 未承認薬の使用
院内で使用されている未承認薬としては、院内製剤(クラスⅠ：12 品目、クラスⅡ：9 品目)および治験薬がある。院内製剤は、倫理審査委員会の審査・承認後に運用を開始している。治験薬は治験審査委員会の審査・承認後に使用している。なお、個人輸入等による未承認薬については、未承認新規医薬品評価委員会を設置している。

2. 禁忌・適応外薬の使用
禁忌・適応外薬の使用は原則として認めていない。やむを得ず使用する場合は臨床倫理室の審査・承認が必要である。申請方法としては、(1)日常診療の中で科学的根拠があり比較的安全性の高い薬剤は“疾患ごと”に審査・承認しており、(2)治療抵抗性があり生命の危険が伴う場合に延命等の目的で適応外使用する場合(主に抗がん剤や免疫抑制剤)は“症例ごと”に「生命倫理を伴う緊急医療行為実施協議会」にて審査・承認後に使用している。

なお、これまでに疾患ごとの適応外使用は 67 件が審査・承認されており、症例ごとの禁忌・適応外使用は 2019 年度は 61 件が審査・承認されている。事例については治療経過や効果判定も含め薬剤部のデータベースに記録している。

・担当者の指名の有無（(有)・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部 ，職種 副薬剤部長 ）	（所属： ，職種 ）
（所属：薬剤部 ，職種 副薬剤部長 ）	（所属： ，職種 ）
（所属：薬剤部 ，職種 薬剤主任 ）	（所属： ，職種 ）
（所属： ，職種 ）	（所属： ，職種 ）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　　（ 有・無 ）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：同意書に同席者のサインも記入し、説明が適切に実施されていることの担保をとっている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録の保管及び管理に関すること。

診療録の内容点検及び記載指導に関すること。

診療録管理室が管理する診療録の閲覧に関すること。

その他診療録の管理に関すること。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無

・所属職員：専従（３）名、専任（１）名、兼任（１２）名

うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（６）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（３）名

（注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

医療安全管理部門では以下の業務を実施している。
○事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。
○患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。
○事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。
○医療の安全に係る啓発及び広報に関すること。
○医療の安全確保のため、医療現場との連絡調整に関すること。
○医療の安全確保に係る職員研修の企画立案に関すること。
○インシデントに関する情報の収集及び分析、関係資料の作成に関すること。
○医療事故再発防止対策等の立案と周知徹底並びに改善に関すること。
○医療の安全確保のための院内の体制整備に関すること。
○死亡退院事例の検証に関すること。
○医療安全管理委員会に係る事務に関すること。
○医療の安全確保に資する診療状況の把握及び職員の医療安全の認識状況の確認に関すること。
○その他医療の安全対策及び医療の質の向上に関すること。
○医療安全に資する診療内容のモニタリングの具体例
３項目（２４時間以内の再手術件数、術後の肺塞栓発生件数、入院患者の転倒・転落発生率及び負傷率）についてモニタリングを実施し、毎月の医療安全管理委員会にて報告している。

○従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例 全職員対象の医療安全研修会において小テストを実施し、医療安全の認識についてモニタリングを実施している。また、院内ラウンドにおいて、医療安全に関するトピックスについての周知状況のチェックを実施している。 ※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。
⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（４件）、及び許可件数（４件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ (有)・無　） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ (有)・無　） ・活動の主な内容： 診療科から申請書が臨床倫理室に提出され、高難度新規医療技術導入審査部門で確認後、その都度病院長が決定した委員による高難度新規医療技術等評価委員会に諮り、適否の意見を受け、最終的に部門長及び臨床倫理室長が適否を決定し、診療科へ通知する。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ (有)・無　） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ (有)・無　）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（０件）、及び許可件数（０件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ (有)・無　） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ (有)・無　） ・活動の主な内容： 診療科から申請書が臨床倫理室に提出され、未承認新規医薬品導入審査部門で確認後、その都度病院長が決定した委員による高難度新規医療技術等評価委員会に諮り、適否の意見を受け、最終的に部門長及び臨床倫理室長が適否を決定し、診療科へ通知する。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ (有)・無　） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（ (有)・無　）
⑨　入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年３０５件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年５５件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

〇医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。
〇医療安全管理のための職員研修に関すること。
〇医療事故及びインシデントに関する情報の収集並びに原因の究明のための調査及び分析に関すること。
〇前号の分析の結果を活用した改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。
〇前号の改善のための方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
〇入院患者の死亡報告及び３ｂ以上のインシデント報告の実施状況の確認に関すること。
〇前号の実施状況が不十分な場合における職員への研修及び指導に関すること。
〇医療安全マニュアルの作成に関すること。
〇その他医療事故防止に関すること。

⑩　他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：防衛医科大学校病院　）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：東京医科歯科大学医学部附属病院　）・無）

・技術的助言の実施状況

１）死亡事例の検証の在り方、２）インフォームド・コンセント用紙（ＩＣ）の記載様式の院内標準化、３）外部監査委員会における「医療を受ける者その他の医療従事者以外の者」の選定に、患者の声をより代弁できる者の選定

上記３点について助言を受け、以下の対応を図っている。

１）医療安全管理室内の専任及び専従の多職種の医療従事者で検証を行っている。

２）記載様式の院内標準化を図るため、改訂作業を進めている。

３）患者会の副代表を委員に委嘱した。

⑪　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

病院入口近くの医療連携センター・がんセンター内に相談窓口を設置し、看護相談、医療福祉相談、がん相談、女性専門相談、セカンドオピニオン、要望・苦情等相談を行っており、看護師、メディエーター、ＭＳＷ、事務職員により対応しており、医療安全に関する相談は医療安全管理室に連絡し対応している。

⑫　職員研修の実施状況

・研修の実施状況 医療安全・感染対策等研修会（年２回開催）にて特定機能病院の承認要件に関する研修について実施した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人日本医療機能評価機構が主催する「令和元年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第７条の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 医学部附属病院長候補者選考基準 令和２年４月発足の国立大学法人東海国立大学機構のスタートアップビジョン、岐阜大学の到達点と東海国立大学機構におけるビジョン、医学部附属病院が掲げる病院理念及び基本方針を実現し，地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担うため，岐阜大学医学部附属病院長選考規程第3条第2項に定める病院長候補者選考基準として，以下のとおり定める。 １．人格が高潔で，学識が優れ，医学部附属病院内外の信頼を得ることができる者であること。 ２．医学部附属病院における学生への教育，学術研究及び社会貢献に関して，調和のとれた運営を行うことができる者であること。 ３．医学部附属病院の運営にあたり，構成員の意見に耳を傾けつつ，迅速な意思決定を行う強い指導力を発揮することができる者であること。 ４．診療，臨床教育，臨床研究など大学病院特有のミッションに精通し，医療機関の管理者としてリスク対応を含めた高いマネジメント能力を持ち，多職種からなる構成員に対して，優れたリーダーシップを発揮できる者であること。 ５．医療安全管理業務の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力を備え，医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者であること。 ６．医学部附属病院を含む病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理上必要な資質及び能力を有し、医学部附属病院の安定的財政基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的運営能力を有する者であること。 ７．国際的な視野を持って医学部附属病院の運営を行うことができる者であること。 ８．医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに，中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し，医学部附属病院の課題について，学長と連携して取り組むことができる者であること。

９．岐阜県における中核病院として、岐阜県や岐阜県下の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献するとともに、産学連携を推進し、新しい医療の開発・発展を通じて、国際社会と地域創生に貢献する姿勢及び指導力等を有する者であること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）
・ 公表の方法
ホームページにて公表
https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/uploads/docs/election_rules.pdf

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ）
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ）
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ）
・ 公表の方法
ホームページにて公表
https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/uploads/docs/election_committee2.pdf

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	特別の関係
大藤　生気	岐阜大学	〇	理事又は副学長のうちから学長が指名した者	有・無
岩間　　亨	岐阜大学		医学系研究科長	有・無
秋山　治彦	岐阜大学		医学部教授会構成員のうちから選出された者	有・無
清水　雅仁	岐阜大学		医学部附属病院科長会議構成員のうちから選出された者	有・無
大友　克之	朝日大学		学長が委嘱する学外の有識者 附属病院を有する大学の学長として、病院経営等について深い見識を有している。	有・無
冨田　栄一	一般社団法人岐阜		学長が委嘱する学外の有識者	

	県病院協会 岐阜市民病院		岐阜大学医学部附属病院外部監査委員会委員長として、本院の医療安全管理体制等について深い見識を有している。	有・(無)
平木　　省	岐阜県		学長が委嘱する学外の有識者 岐阜県行政の担当責任者として、岐阜県の医療行政について深い見識を有している。	有・(無)

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無

・合議体の主要な審議内容
一　本病院の運営方針に関すること。
二　本病院の中期目標、中期計画及び年度計画に関すること。
三　本病院の予算及び決算に関すること。
四　本病院の組織に関すること。
五　その他本病院の運営に関する重要事項

・審議の概要の従業者への周知状況
翌月の科長会議、医局長等合同会議での議事録の配布、
学内ホームページへの議事録の掲載。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無 ）
・公表の方法
岐阜大学ホームページの規則集に関する情報ページに掲載している。

・外部有識者からの意見聴取の有無（ (有)・無 ）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
吉田　和弘	○	医師	病院長
森重　健一郎		医師	副病院長
秋山　治彦		医師	副病院長
土井　潔		医師	副病院長
清水　雅仁		医師	副病院長
廣瀬　泰子		看護師	副病院長
下畑　享良		医師	病院長補佐
矢部　大介		医師	病院長補佐
古家　琢也		医師	病院長補佐
早野　美里		事務職員	事務部長
大倉　宏之		医師	科長
森田　浩之		医師	科長
岩田　尚		医師	科長
二村　学		医師	科長
岩間　亨		医師	科長
小川　武則		医師	科長
加藤　久和		医師	科長
清島　眞理子		医師	科長
塩入　俊樹		医師	科長

松尾　政之		医師	科長
飯田　宏樹		医師	科長
柴田　敏之		歯科医師	科長
青木　光広		医師	部長
原　　明		医師	部長
小倉　真治		医師	センター長
古井　辰郎		医師	センター長
馬場　尚志		医師	センター長
熊田　恵介		医師	室長
鈴木　昭夫		薬剤師	部長
牛越　博昭		医師	室長
塚田　敬義		教育職員	室長

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無　）
・　公表の方法　ホームページにおいて公開
https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010430.htm

・　規程の主な内容

1　本病院に，病院長を置く。
2　病院長は，院務をつかさどり，管理運営の任に当たる。
3　病院長は，本病院の予算を編成し，その予算の適切な執行に責任を持つ。
4　病院長は，病院で行われる診療について，その実施状況の報告を求め，又は自ら調査し，必要に応じて是正又は停止を命ずることができる。
5　病院長は，次条に定める副病院長が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは，副病院長の解任について学長を通じて機構長に申し出ることができる。
一　心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。
二　職務上の義務違反があるとき。
三　その他副病院長たるに適しないと認めるとき。
6　病院長は，第4条の病院長補佐，第4条の2の病院長特別補佐，第6条の科長，第9条の部長及びセンター長，第10条の高度救命救急センター長又は第12条の薬剤部長(以下「病院長補佐等」という。)が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは，病院長補佐等を解任することができる。
一　心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。
二　職務上の義務違反があるとき。
三　その他病院長補佐等たるに適しないと認めるとき。
7　病院長は，病院長補佐等を解任したときは，その理由を明らかにしなければならない。

・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

〇副病院長
　病院長の職務を補佐し、及び病院長の命を受け、職務（研究、経営、医療安全・危機管理、地域医療、看護等）を分担する

〇病院長補佐
　病院長及び副病院長を補佐し、並びに病院長の命を受け、特定の業務（教育、研修、、働き方改革、国際、広報等）を掌理する

〇病院長特別補佐
　病院長及び副病院長を補佐し、並びに病院長の命を受け、特定の業務（経営）を掌理する

・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

　日本医療機能評価機構の主催する特定機能病院管理者研修へ病院長、医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医薬品安全管理責任者が参加する。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無

・監査委員会の開催状況：年２回

・活動の主な内容：

外部監査委員会が年２回、医療安全管理の目標達成状況や、院内のインシデントや死亡退院、死産事例等の報告を受け、特定機能病院としての医療安全業務の実施状況を監査する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ (有)・無 ）

・委員名簿の公表の有無（ (有)・無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ (有)・無 ）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無 ）

・公表の方法：

岐阜大学ホームページの監査に関する情報ページ及び附属病院ホームページに掲載している。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
冨田　栄一	岐阜市民病院	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有・(無)	1
中西　敏夫	弁護士法人森川・鈴木法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・(無)	1
松野　正仁	（一社）岐阜市医師会		医療を受ける者	有・(無)	2
王　志剛	岐阜大学		学長が必要と認める者	(有)・無	3
有賀 紀美子	あけぼの岐阜		医療を受ける者	(有)・無	2

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 監査室及び監事による定期・臨時の監査により、法令順守状況を監査するとともに、会計監査及び経営上の重要な事項については、役員懇談会への報告を行っている。 ・ 専門部署の設置の有無（ 有・無 ） ・ 内部規程の整備の有無（ 有・無 ） ・ 内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 岐阜大学ホームページの規則集に関する情報ページに掲載している。

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

運営会議（昨年度名称：役員会）により、病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督されている。

・ 会議体の実施状況（　年４２回　）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ (有)・無　）（　年４２回　）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無　）

・ 公表の方法
岐阜大学ホームページの規則集に関する情報ページに掲載している。

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：運営会議（昨年度名称：役員会）

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（○を付す）	利害関係
森脇　久隆	学長	○	有・(無)
杉山　誠	副学長（筆頭）（総括・国際担当）		有・(無)
福井　博一	副学長（企画・教育・評価・基金担当）		有・(無)
王　　志剛	副学長（研究・産学連携・情報担当）		有・(無)
林　　正子	副学長（多様性・人権・図書館担当）		有・(無)
岩間　亨	副学長（広報・地域医療連携担当）		(有)・無
松田　典明	副学長（総務・財務担当）・運営局長		有・(無)
吉田　和弘	医学部附属病院長		(有)・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ） ・通報件数（年０件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ） ・周知の方法 メールおよび専用のホームページで周知を行っている。

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有)・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 評価を受けた期間：認定有効期間2021年9月24日	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無
・情報発信の方法、内容等の概要 広報誌「うぶね」やホームページ等で院内の情報を積極的に配信している。また、メディア懇談会を開催し、積極的にアピールしたい情報に関して報道関係者へプレスリリースを行っている。	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	(有)・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 患者相談窓口部門として医療連携センターの医師，看護師，メディエーター，ソーシャルワーカー，事務職員と院内の医療安全管理部門から医師、看護師の他に医療支援課　事務職員で「患者支援カンファレンス」を週１回程度で開催し患者等の相談内容について連携し対応している。	

（様式第 8）

2 岐大病総第 65 号
令和 2 年 10 月 2 日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　国立大学法人東海国立大学機構
機構長　松尾　清一　（印）

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、公益財団法人日本医療機能評価機構が主催する特定機能病院管理者研修に受講申込みをしており、受講予定である。なお、医療安全管理責任者は令和２年４月から着任したため初回の受講、管理者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は継続（２回目以降の受講）である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（３）名、専任（１）名、兼任（１２）名 うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（６）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（１）名 うち看護師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（３）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

令和２年４月から、専任医師２名のうち１名を専従とし、専従医師１名及び専任医師１名、専従薬剤師１名、並びに専従看護師１名を配置している。